

おおたでんき News



イマココ!

太田電機が携わっている工事をご紹介します!



阿久根市立阿久根小学校

毎年、夏の猛暑が問題となっていますが、文部科学省の「冷暖房設備対応臨時特別交付金」制度により、鹿児島県でも小・中学校、幼稚園などに一斉に空調機（エアコン）を設置される工事が始まっています。太田電機も阿久根市内の小・中学校4校、出水市内の小・中学校2校の空調機設置工事をしています。児童、生徒が適正で快適な環境の中で学べるよう安全に工事を進めています。現場では工事車両の行き来や工事の音などでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒ご理解とご協力をお願い致します。

水道屋さんの知恵袋

南国鹿児島では、気温が0度以下になることはめったにありませんが、何年かに一度、寒波がくることもあります。最近は大雨や洪水など自然の猛威が突然襲ってくることもあります。いろいろな知恵や備えて自分自身を守りましょう。



寒波による水道管を破裂させない対策

①露出している水道管に保温材を巻く

ホームセンターなどで売っている保温材、または古い毛布などを巻きビニールテープや粘着材などで隙間がないよう留めます。要は配管が露出しないよう防寒対策をすればいいのです。

心配なときは近所の専門家に依頼しましょう。



②蛇口から水を少し流しておく

凍結防止のため、蛇口から途切れない程度に細く（最小限に）水を出しっぱなしにします。でも・・・凍結の心配はなくなるけど、水道料金が心配になりますよね。では計算してみましょう。

1栓あたり10時間ほど上記のように水を流すと120リットル流れる計算になります。水道料金は1立方メートル（1000リットル）当たり150円程度。1栓あたり10時間ほど水を流したら、18円くらいです。破裂してかかる修理代を出すよりお得だと思いませんか？

太田でんきの「この人」



出水営業所所長 山内 正隆

◆資格：管工事施工管理技士
土木工事施工管理技士
第一種電気工事士

◆特技：シニアソフトボール
大きな声で挨拶すること
皆と楽しく焼酎を飲んで歌うこと。

◆最近嬉しかったこと
正月早朝、孫たちとジョギングをして、一年の健康を祝えたこと。

今年もはりきってます！^o^/

昭和21年の創業以来、地域の方々の安全・快適な生活に貢献し、お客様の「笑顔」を生む『住宅設備の救急隊』として技術を磨き、信頼を積み重ね、皆様のライフラインを支えています。



～高齢者や障がい者（児）のためのほっと笑顔工房～

ケア・リフォーム 暖家だんけ

ReLife り・らいふ通信

～暮らし・生活・住環境を見つめなおして～

No. 50 * 2020年1月

(株)太田電機工業所
ケア・リフォーム事業部

鹿児島県指定
福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業所
介護保険事業所番号4670600396



2020年 あけましておめでとうございます



(阿久根市番所ヶ丘からの初日の出)

暖家は今年、5年目に向かって走り出しました。

もし今 誰かが、病気や障がいや年齢のために困難な辛い場所におられたとしても、それを少しでも改善し、より安全で安心な毎日を過ごせる可能性を探り、介護・看護される方々と一緒に、住環境を整えるお手伝いをさせていただきたいと励んでまいりました。

暖家のイメージカラーはオレンジ色です。

それは、暖かい燈火の下に家族や仲間が笑顔で集うイメージがオレンジ色であり「だんけ」（ドイツ語で「ありがとう」の意）の言葉の響きがオレンジ色であり夜明けの希望と 夕陽の感謝の色が オレンジ色であったからです。

実際には「言葉の色」というのは目に見えないかもしれません。

でも私達、暖家スタッフは、精一杯オレンジ色の笑顔と温かな言葉で出会う方々が元気になるような、心に燈が灯るような仕事をしていきたいと いつも願っています。

暖家は今年も、より一層のスキルアップに励み、多職種連携の一助となるべくより良い用具選定や住環境整備・改修、そしてより早い対応を心がけおひとりおひとりに向き合って参りたいと存じます。

どうぞ本年も宜しく願い申し上げます。



介護保険住宅改修・福祉用具機器のレンタル・販売はおまかせください!



でんきと水とエアコンの

(株)太田電機工業所

阿久根市港町65番地4 TEL:0996-73-2800
出水市大野原町304番地 TEL:0996-63-1966



今回から5回シリーズでお届けするのは
もしも介護が必要になった時に

あわてない 困らない 損しない

そのための介護に関するお金の知識を身につけ、なるべく心や体に、そしてお財布にも負担のない介護を目指していただくためのお話です。

「今、自分の家族には介護は関係ない。」
大抵の人がそう考えているかもしれませんが、ところが、介護は急にやってくる場合があります。実は75歳以上では608万人、3人に1人の割合で介護が必要（要介護者）です。いままで介護なんて考えたことがなく介護について何も知らない場合、急に介護が必要になってどうしていいかわからない。どこに相談したらいいかわからず、パニックになるかもしれません。介護が必要になったとき、正しい情報や方法を知らないと、介護される側も介護する側も生活の質が下がってしまいます。

林炎子の 知らないと損をする

介護とお金のヒミツ講座



『知らないと損をする
介護にまつわるお金のzoomセミナー』
(日本高齢者アタッチメント協会)はこちら↓
<http://ninchishoucare.jp/funds-zoom/>
zoomセミナーは全国どこからでも受講可能です。

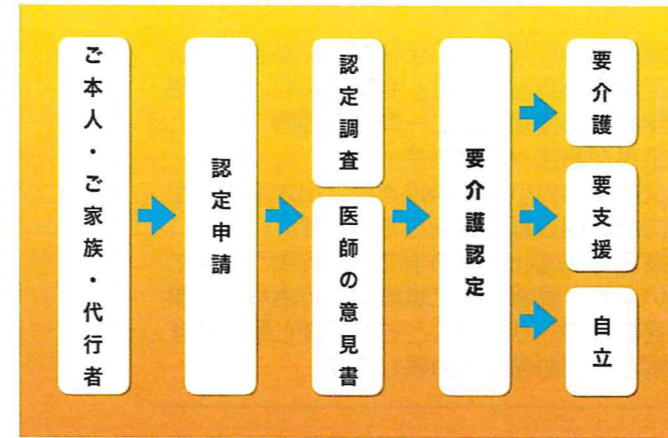
第1回「介護保険ってどんな制度？」

介護保険は各市区町村に設置されている、地域包括支援センターで丁寧に相談に乗ってもらえますが、まずは基本的な情報をおさえておきましょう。

介護保険サービス利用には認定が必要

介護保険は40歳以上で医療保険に加入していれば自動的に加入します。65歳以上で介護が必要な状態になったら申請でき、認定がおりれば介護保険サービスを受けられます。40歳～64歳でも特定の病気（認知症や脳出血など16種類）で介護が必要になった場合、介護保険サービスを受けることができます。

要介護認定により 要介護（5段階）と判定されると介護サービス、要支援（2段階）と判定されれば予防介護サービスを受けることができます。認定調査から要介護認定までは1ヶ月程かかりますが、その間でも（暫定的ですが）介護サービスを受けることができるケースもあります。



【介護保険申請の流れ】
お住いの市区町村に介護申請をして認定調査を受け、要介護認定を受けます。

介護度によりサービス利用額には上限があり、一人ひとりを適切にマネジメントしてくれるのがケアマネジャーさん

介護サービスを受けようとする場合、居宅介護支援事業所と契約することで、ケアマネジャーさんから適切に必要な介護サービスが計画、提案されます。介護サービスは、自宅を拠点とする居宅サービスと、施設に入居する施設サービスがあります。自宅を拠点とする居宅サービスには介護度により、いろいろな福祉用具の貸与・購入や住宅改修など、少ない負担額（1割～2割）で利用できるサービスがあります。

「デイサービスに行くほどじゃないし、施設に入居するほどでもない」そう思っている、介護のためのベッドや車いすが必要になる場合や家の中で手すりが必要になる場合もあります。これには介護保険を使うことで安く済ませることができます。

知らないと、ベッドや車いすを高額で購入したり、自費で住宅改修をしてしまうことがあります。もったいないですね。そんなことにならないためにも介護が必要になりそうなら慌てずに、まずは地域包括支援センターに相談してみましょう。

- 【ポイント】
- ①介護保険は病気によっては40歳から使える。
 - ②要介護認定前でも暫定的に介護サービスが使える場合がある。
 - ③在宅サービスや施設サービス以外でも使える介護保険サービスがある。

この3つを知っているだけでも、突然、介護が必要になったとき情報がなかったために余計な出費がかかることを防げます。

次月の第2回目は…
「介護資金、いくら必要？」
についてお伝えします。

暖家シリーズ
第31回

みんなの認知症介護をハッピーに♪

「親の介護どうしよう？」「親と離れて暮らしていて心配」そんな相談をよく受けます。「親が老いる」ということを前向きに捉えられるようになると自分の人生の質も変わってきます。

親の老いに向き合わずに後悔する人と親の老いに向き合ったことで笑顔が増え、親ともっと仲良くなれた人との人生の豊かさは全く違ってきます。

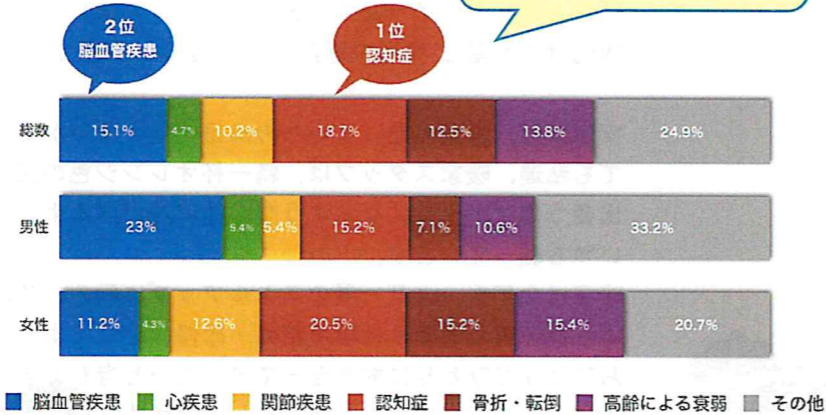
認知症の人とのコミュニケーションも同じです。家族、近所、親戚、またはお仕事として認知症の人と向き合うとき好奇心をもって知識や想像力を動かしてみる。

認知症ってどんな病気なんだろう？
認知症の人の頭の中で何が起きているんだろう？
どうしたら状況を変えられるんだろう？

認知症の人への対応がマニュアルではなく向き合い、より良い関係を築いていけたらいいですね。

親の介護が必要になるとき

介護が必要になった原因
1位は認知症



「どんより介護からハッピー介護へもっと楽になる考え方を伝えたい！」
林 炎子（もえこ）さん
(日本高齢者アタッチメント協会 代表)

認知症になっても大丈夫。

認知症があっても大丈夫。



看護師で認知症介護歴32年の林炎子さんは、認知症介護に携わってきた経験や知識を一人でも多くの方に知ってほしいと、「目からうろこの認知症セミナー」を開催されています。

<http://ninchishoucare.jp/blog/>

介護が必要になった主な原因についてみると「認知症」が18.7%と最も多く、次いで、「脳血管疾患（脳卒中）」15.1%、「高齢による衰弱」13.8%、「骨折・転倒」12.5%となっている。また男女別に見ると、男性は「脳血管疾患（脳卒中）」が23.0%、女性は「認知症」が20.5%と特に多くなっている。（平成30年版高齢社会白書（全体版）-内閣府）

「みんなの認知症介護をハッピーに」は、林炎子さん公式ブログ「家族で支える認知症ケア」より抜粋、参照しています。



「生きることは喜び！」につながる安全・安心・快適な日々の暮らしを創ります。支えます。

住まいが変われば生き方が変わる！

ケア・リフォーム 暖家だんけ
(電話 0996-73-2073)
<http://danke-care.com/>